

## 福知山公立大学 2022年度卒業式・学位授与式 式辞

地域経営学部地域経営学科97名、医療福祉経営学科32名、合計129名の卒業生のみなさん、ここに晴れてご卒業を迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。教職員を代表してお祝いを申し上げます。そして、福知山市長大橋一夫様のご臨席をいただいたことに感謝を申し上げるとともに、本年は卒業生の保護者のみなさまのご参加も仰げるかたちでこの卒業式・学位授与式を挙行できますことを、ともに喜びたいと思います。

みなさんの大多数の方は2019年4月に本学に入学されましたが、2020年1月から広がった新型コロナウイルスのために、大学生活を多くの制限のもとで送らざるを得ませんでした。2年生の間の本学の授業のほとんどがオンラインで実施され、3年生の間も対面とオンラインとを併用するかたちで学ぶことを余儀なくされました。その期間は、正課の授業だけではなく、課外活動や大学祭・福桔祭にも多大な制約がありました。さらには、社会活動全体の低下の中でのアルバイト先の減少などで、経済的困難をかかえた方も少なくなかったことでしょう。

みなさんが甘受せざるをえなかったこの状況はほんとうに不運・不幸でした。新型コロナウイルスの影響は、どの世代の人々にとっても同様であったとはいえ、大学という場で学び、生涯の友を見つけ、成長を遂げなければならない世代であったみなさんにとっては、とりわけ大きな不運・不幸であったと言わなければなりません。「なぜ自分たちが」という思いは拭いきれないことでしょう。

しかし、この新型コロナウイルス蔓延という不運・不幸をいわば逆手に取って、そこに積極的な意味を見出すことは可能かもしれません。自分が生きている日本の社会、そして世界全体が、いかに盤石なものに見えようとも、実はきわめて簡単に不安定さを露呈するものであるということを、私たちは身をもって経験し気づくことができたのです。安定した見通しのよい社会を前提とし、その中で真理とされている固定的な知識を受動的に身につけるだけでは、新型コロナウイルスにうまく対応できないということを身にしみて感じてきたはずです。つまり、知識というものは常に更新され続ける不安定さを抱え込んでいくということを、そしてその時々々の知識とそれが体系化されたものである学問が、マスク着用のような日常的な生活のあり様を決めるものだというのを、みなさんは大学という学びの場で鮮烈に感じ取ることができたのです。新型コロナウイルスは、たしかに不幸なことであったにしても、稀有な経験を与えてくれたことになると思います。

また、みなさんは学生生活の終わりに、ロシアのウクライナ侵攻という事態に遭遇することにもなりました。この事態に対する論評はここではいたしません。これが新型コロナウイルスと同じように、世界が不安定さを、そして見通しを持ち得ない不透明さを実は抱え込んでいることを如実に示すものであることは確かです。そして、ウクライナ問題は、

やはりウィルスと同じように、その事態がほとんど直ちに私たちの日常生活に大きな影響を与えていることも経験しましたし、その影響はいまでも続いています。

この新型コロナウイルスとウクライナ侵攻の経験はみなさんにとって、福知山公立大学における学びの意味を問い直すきっかけとなったに違いありません。それは本学が掲げる地域協働型教育との関係です。みなさんの多くが福知山市をはじめとする北近畿という一地域の課題とその解決をめざして学ばれてこられたことは、卒業研究のテーマを眺めてみますとよく分かります。取り上げられているテーマは重要なものでありその学びは貴重であったと信じていますが、しかしそれらはいわば「小さな」テーマであって、コロナウィルスやウクライナといった「大きな」問題を横に眺めその影響を如実に感じているときには、「福知山での学びはあれで十分だったのだろうか」、「もっと学ぶべきことがあったのではないのか」という思いを抱くかもしれません。

しかし、心配することはありません。そもそも大学での学びというものは、限定された知識や特定のスキルを身につけるという点にあるのではないからです。そのことは Chat-GPT に代表されるような汎用的な人工知能の出現で、より明確になってきたと思います。これから重要になることは「AI に何を問いかけるのか」ということ、つまり、生きていく上で何が解くべき課題であるかをみずから発見し、その課題に対処するために必要で学ぶべき知識が何であるのかを見極めることです。そして、みなさんは本学で、「小さな」テーマであるかもしれませんが、それと格闘するなかで、課題を見つけて解決をめざす方法そのものを身につけたはずなのです。大学生活はごく短い時間ですし、その間に知り得た知識はほんの僅かなことにすぎません。しかし、みなさんはどのように学べばよいかという方法を学んだのですから、その方法をたずさえて、これからの自分の人生と社会の未来を切り開いていくことができるのです。

本学を卒業されるみなさんは、人生の学びにおける区切りを迎えたことになります。しかし、日本の社会と世界全体の不透明さと変化の度合いはますます大きくなると思われます。また、人生 100 年時代と言われるようになり、みなさんの前にはじつに長い道のりが広がっていることになります。ですから、卒業は学びの一つの区切りではあっても、決して学びの終わりではありません。というより、社会の変化の大きさを考えると、これからも学び続けなければならない世界が広がっていると言ふべきなのです。そのような世界で学び続けるためのちからが、福知山公立大学での学びによってみなさんに備わっていると信じ、みなさんお一人お一人が豊かで充実した人生を歩まれることを願ってやみません。

本日のご卒業、本当におめでとうございます。

2023 年 3 月 23 日

福知山公立大学学長 川添 信介